

政策名	5安全な港	責任者	港営部 港湾管理事務所長	連携担当課 (港営部)港営課 (建設部)工事課、港湾工事事務所
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上			
個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する			
事務事業名	04荷さばき地の管理運営(コンテナターミナルを除く)	連絡先	052-398-0503	

1 PLAN(目的・概要)

目的	荷さばき地を適切に管理し、効率的に使用します。	事業期間	昭和36年度～継続
概要	施設の使用状況を把握し、無許可使用や施設への損傷の有無に注意を払い、損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を実施します。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合港湾施設条例
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・使用許可申請書の受理 ・利用調整 ・現場確認を実施し、施設の使用状況を確認 ・港湾管理情報システムに使用実績を入力 ・利用者からの要望により、施設損傷等の不具合が生じた場合は緊急度に応じた補修を実施								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
使用許可申請の件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-	荷さばき地使用許可申請の件数
	件	実績	4,863	4,251	3,134	3,655			
現場確認の日数	単位	目標	245	243	242	243	244	開庁日数	荷さばき地施設の使用状況等を確認した日数
	日	実績	245	243	242	243			
事業費	千円	0	0	0	0	0			
人員	正規職員	人	3.00	3.00	3.00	2.90	2.70		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	26,055	26,310	25,746	24,595	23,671			
事業費・人件費の合計	千円	26,055	26,310	25,746	24,595	23,671			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
施設提供率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(荷さばき地提供面積×日数)÷(荷さばき地総面積×日数)	
	%	実績	99.7	97.9	92.9	93.3				
	達成率(%)	99.7	97.9	92.9	93.3					
施設使用率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	使用料÷有効面積金額 23年度から追加した。	
	%	実績	66.6	60.0	40.8	46.1				
	達成率(%)	66.6	60.0	40.8	46.1					
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無	施設を適切に管理及び維持していくために必要です。							
	目的・水準の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無								
	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input type="radio"/> 無								
有効性	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無	施設の使用状況及び損傷の状態を把握したため、適切に管理及び維持が出来たと考えます。							
	内容の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無								
効率性	実施主体の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無	受益者負担について、平成7年の条例改正により料金改定がなされたが、暫定料率が継続されています。施設の老朽化等維持経費が増大する中、使用料収入の適正化が課題となっています。							
	受益者負担の適正性	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無								
	経済性	有・ <input type="radio"/> 無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			

施設の老朽化等維持経費が増大する状況において、暫定料率の見直しについて関係部署に働きかけていきたいと考えています。また、施設の損傷の状態を把握し、計画的に補修して適切に管理及び維持していきます。